

# 安全データシート (SDS)

作成 2014 年 11 月 19 日  
改訂 2025 年 11 月 7 日 (第 4 版)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : Arphamenine B (製品コード 4149)  
製造者 : 株式会社ペプチド研究所  
住所 : 大阪府茨木市彩都あさぎ 7 丁目 2 番 9 号  
電話番号 : 072-643-4411  
FAX 番号 : 072-643-4422  
推奨用途 : 試薬  
使用上の制限 : 必要に応じ専門家の判断を仰ぐこと。

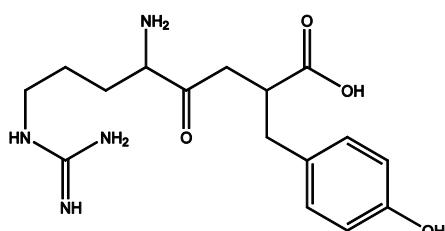
## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類基準に該当しない  
その他の危険有害性 : データなし

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名又は一般名 : Arphamenine B  
別名 : (2R,5S)-5-Amino-8-guanidino-4-oxo-2-p-hydroxyphenylmethyloctanoic acid  
(Sulfate Form)

構造式 :



化学式、分子量 : C<sub>16</sub>H<sub>24</sub>N<sub>4</sub>O<sub>4</sub> (M.W. 336.39)

官報公示整理番号

化審法 : -

安衛法 : -

CAS Registry Number : 103900-19-2

EINECS No. : -

TSCA 登録 : 無し

国連番号及び国連分類 : 危険物に該当しない

## 4. 応急措置

吸入した場合 :

空気の新鮮な場所に移し安静にする。清浄な水で口内と鼻腔を充分に洗浄し、医師の処置を

受ける。

皮膚に付着した場合 :

触れた部位を多量の水で洗い流す。必要であれば医師の手当を受ける。

眼に入った場合 :

直ちに流水で 15 分以上洗眼する。必要であれば医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 :

清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じ医師の処置を受ける。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水スプレー、二酸化炭素、粉末消火剤など

使ってはならない消火剤 : 特になし

特有の消火方法 : 通常の火災時の消火方法に準ずる。

消防を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :

直接人体に触れないように防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を必要に応じて着用する。

環境に対する注意事項 :

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 :

漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱い注意事項 : 直接人体に触れないようにする。

接触回避 : データなし

保管

安全な保管条件 : 品質保持のためフリーザー保存を推奨、密封、遮光。

安全な容器包装材料 : データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 特に必要としない。

許容濃度 : データなし

濃度基準値 : データなし

保護具 : 防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を必要に応じて着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体 (不定形粉末)

色 : 淡黄色

臭い：データなし  
融点／凝固点：データなし  
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし  
可燃性：データなし  
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし  
引火点：データなし  
自然発火点：データなし  
分解温度：データなし  
pH：データなし  
動粘性率：データなし  
溶解度：水に可溶  
n-オクタノール／水分配係数：データなし  
蒸気圧：データなし  
密度及び／又は相対密度：データなし  
相対ガス密度：データなし  
粒子特性：データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性：データなし  
化学的安定性：データなし  
危険有害反応可能性：データなし  
避けるべき条件：データなし  
混触危険物質：データなし  
危険有害な分解生成物：データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性：データなし  
皮膚腐食性／刺激性：データなし  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：データなし  
呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし  
生殖細胞変異原性：データなし  
発がん性：データなし  
生殖毒性：データなし  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：データなし  
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：データなし  
誤えん有害性：データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性：データなし  
残留性・分解性：データなし  
生体蓄積性：データなし

土壤中の移動性：データなし  
オゾン層への有害性：データなし

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報：  
適用される条例、政令等に従う。

### 14. 輸送上の注意

国連番号及び国連分類：危険物に該当しない。

国内規制がある場合の規制情報：該当なし

冷凍輸送が望ましい。

容器の破損、漏れがないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

取扱い及び保管上の注意事項の記載にも注意する。

### 15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報：該当なし

### 16. その他の情報

#### 引用・参考文献

1. GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 2023 年 9 月  
(一般社団法人 日本化学工業協会)
2. JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (一般財団法人 日本規格協会)
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) のウェブサイト

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂があります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。